

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はワールドプレミアが優勝

5月2日(日)に行われた天皇賞(春)(G I)ではワールドプレミア(牡5歳/栗東・友道康夫厩舎)が優勝、2019年菊花賞(G I)以来の勝利を大舞台であげ、2つ目のG Iタイトルを手に入れました。なお同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、この勝利でJRA重賞レース通算150勝を達成。これは史上4人目、現役では3人目の記録となります。

●茶木太樹調教師と辻哲英調教師がJRA初勝利をあげる

5月1日(土)の2回阪神11日・第4レースではスズカフューラーが1着となり、同馬を管理する茶木太樹調教師(栗東)は、JRA初勝利をあげました。翌2日(日)の2回東京4日・第6レースではヤマニンデンファレが1着となり、同馬を管理する辻哲英調教師(美浦)もJRA初勝利をあげました。両名とも開業は今年3月で、茶木調教師は3月6日(土)の初出走から数えて延べ36頭目、辻調教師は3月13日(土)の初出走から数えて延べ26頭目の初勝利となりました。

●五十嵐忠男調教師が400勝、西園正都調教師が600勝を達成

5月1日(土)の2回阪神11日・第3レースではマイネルエニグマが1着となり、同馬を管理する五十嵐忠男調教師(栗東)は、現役41人目となるJRA通算400勝(延べ5521頭目)を達成しました。翌2日(日)の1回新潟8日・第11レースとして行われた吾妻小富士Sではサトノギャロスが1着となり、同馬を管理する西園正都調教師(栗東)は、史上97人目、現役では15人目となるJRA通算600勝(延べ7282頭目)を達成しました。

●ダイワメジャー産駒がJRA通算1100勝を達成

5月2日(日)の2回阪神12日・第2レースではロードサーージュが1着となり、ダイワメジャー産駒のJRA通算勝利数が1100勝となりました。これはJRA史上17頭目の記録となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●かしわ記念でカジノフォンテンが川崎記念に次ぐJpn I制覇

かしわ記念(Jpn I、5月5日、船橋、1600m)は、3番手前後から3、4コーナー中間で先頭に立った2番人気の船橋所属馬カジノフォンテン(張田昂騎手、牡5歳、父カジノドライブ)が、ソリストサンダーの猛追をハナ差凌いで優勝。インティが3着に入り、昨年の覇者ワイドファラオは4着、1番人気に推されたカフェファラオは見せ場なく5着、サンライズノヴァは7着、3番人気のタイムフライヤーは9着に敗れています。

●リブレーザが兵庫チャンピオンシップ(園田)で重賞初制覇

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月4日、園田、1870m)は、4番手から差を詰めた2番人気のリブレーザ(幸英明騎手、牡、父リオンディーズ)が、先に抜け出した単勝1.2倍で圧倒的人気のゴッドセレクションを残り100mで差し切り、重賞初挑戦で初制覇。ランスオブアースが3着、逃げた3番人気のロードエクレールが4着で、4頭出走したJRA所属馬が上位を独占しています。

●ラプタスが逃げ切っにかきつばた記念(名古屋)連覇達成

かきつばた記念(Jpn III、5月3日、名古屋、1400m)は、先手を取った2番人気のラプタス(幸英明騎手、騾5歳、父ディーブブリランテ)が、単勝1.7倍で断然人気のテイエムサウスダンを3馬身引き離し、このレース連覇を達成しました。3番人気のベルダーイメルが3着、ノボカカラは5着、スマートセラヴィーは7着でした。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英2000ギニー～ポエティックフレアが接戦を制す

5月1日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG 1英2000ギニー(3歳牡牝、芝1600m)はアイルランドのポエティックフレア(牡、父ドーンアプローチ)がマスターオブザシーズとの競り合いを短アタマ差で制して優勝。昨年10月のG 3キラヴランS(芝1400m)、今年4月の愛2000ギニートライアルS(芝1400m)に続く3連勝での戴冠となりました。J. ボルジャー調教師(79歳)と、その娘の夫であるK. マニング騎手(54歳)はともに2013年のドーンアプローチ以来となるこのレース2勝目。なお、同馬の生産者はボルジャー調教師で、馬主は調教師の夫人です。

●G 1ケンタッキーダービー～メディーナスピリットが逃げ切る

米国ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で5月1日に行われたG 1ケンタッキーダービー(3歳、ダート2000m)はメディーナスピリット(牡、父プロトニコ)が逃げ切りました。同馬は今年1月のG 3ロバートB. ルイスS(ダート1700m)で重賞初制覇。続くG 2サンフェリペSとG 1サンタアニタダービーは2着でした。B. バファート調教師(68歳)とJ. ヴェラスケス騎手(49歳)は昨年のオーセンティックに続く連覇。バファート調教師は史上最多となる7勝目です(ヴェラスケス騎手は4勝目)。